

福祉^しを身近で学んで

多賀中 三年 石井^{いし}里奈^{りな}

私には祖父母がいます。祖父は働き者で、家事全般をやったり畑仕事をやったりと元気に過ごしています。一方、祖母は足腰が弱く杖をつくか肩を貸すか車椅子かの三択でしか出かける事が出来ません。なので私は小さい頃から肩を貸してあげていました。そして父は数年前、たくさん勉強をして介護士の資格をとりました。その時は、本当に嬉しか

たです。それと同時に凄いなあと尊敬する気持ちもちも生まれていました。

その事があって、中学二年生の職場体験で介護施設を選びました。その前には、父に介護の大変さや髪を乾かし方などを教えてもらいました。当日がやってきました。一緒に行く友達と話しながらも、自分の中で不思議になるくらい緊張していました。そして次々とくる方々に笑顔で挨拶をすると、笑顔で返してくれました。少し感動しました。朝の

会が始まり、その日の司会者の方が「今日は皆さんと三日間、過ごす事になる新しいお友達がやって来ました」と紹介されて一人一人自己紹介をしました。その後、皆さんと雑談する時間になりました。そして、気軽に声をかけてくれたので緊張も次第に無くなっていききました。一日目は慣れない所があったので、めまぐるしく終わりました。二日目からは、だんだん慣れていき施設の方々に話しかけられるのを待つのではなく、自分から話しか

かけれるようになってきました。朝の体操を一緒に行ったたり、カラオケにのったり、お菓子を食べながら雑談をしたりと、一日目とは全く違う楽しい時間を過ごしました。

そして最終日になりました。朝の会は同じような内容で進みました。ですが、私は一つのイベントに物凄く不安があり動揺していました。それは、私達だけでゲームを考えて実践し施設の方々を楽しませると言う職場体験の集大成です。いよいよ、本番が始まりました。

私達が考えた一風変わったボウリングのルール説明をし、皆さんに楽しんでもらいました。全ての結果で一位、二位を獲った人には、折り紙で作った特製のメダルを金と銀で手渡しをしました。喜んでくれて、もつとメダル!!と叫んでいた方もいたので、気に入ってくれて良かった。たど心から思う事ができました。こうして、楽しく心に刻まれたたくさん思い出が出来た職場体験でした。

私は、この経験を通して、祖父母や困っている人の手助けが出来るようにしていきたいと思いました。

又、7年前の東日本大震災や、豪雨被害などで被災している方々、他にも沢山大変な思いをしている方もいると思います。今後は、ボランティア活動にも大いに参加していきたいです。